おおだて市議会だより

101号
平成23年8月1日

平成23年6月定例会
（会期：5月31日～6月17日）

●主な議案等の審査結果（6月定例会、第1回臨時会）… P.2
●一般質問 …… P.4
●議会の構成
●全国市議会議長会表彰　表彰状伝達等 … P.8

新大館市議会がスタート

議長に藤原美佐保（ふじわらみさお）氏を選出

副議長には佐藤久勝（さとうひさかつ）氏、監査委員には小畑淳（おばたきよし）氏

主な議案等の審査結果

６月定例会（会期：５月31日～６月17日）

内訳：専決処分の報告１件及び承認１件、報告11件、条例案７件、単行案２件、予算案７件
人事案３件、推薦１件、陳情２件　　計35件

主な案件・内容	結果
○大館市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ・地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正により、本市の非常勤職員についても育児休業や部分休業ができるようにします	原案可決
○大館市工場等設置促進条例の一部改正 ・県営第二工業団地（大館市二井田）への企業誘致を推進するため、用地取得費助成金の交付要件の緩和と助成金単価について上限を定め引き上げることができるようにし、企業誘致をさらに促進します ※取得面積　（改正前）10万㎡　⇒（改正後）３万㎡ 助成金単価　（改正前）10万㎡を超える面積について１㎡につき3,000円　⇒（改正後）１㎡につき5,000円を超えない範囲で予算で定める額	
○大館市勤労者総合福祉センターに関する条例の一部改正 ・本施設を広く市民の方々にご利用いただくため、名称を「大館市北地区コミュニティセンター」に変更。さらに毎週月曜日の休館日を廃止し、12月29日から翌年１月３日のみの休館日とします	
○平成23年度大館市一般会計補正予算（第４号）案 ・テレビ共聴施設設置事業費補助金（下味噌内・山館）　855万5,000円 ・介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金　3,000万円 ・ケアハウスほうおう改修事業費　2,993万3,000円 ・小柄沢墓園造成事業費　6,696万4,000円 ・比内地鶏鶏糞処理施設建設事業費　2,645万8,000円 ・市民の森休憩施設改修事業費　2,782万8,000円 ・養豚施設誘致事業費　2,500万円 ・地域おこし協力隊事業（越山地区）　521万4,000円 ・タイヤボイラー設備等購入事業　1,068万6,000円 ・道路改良・狭あい道路整備費等（釈迦内松木立花線・大滝２号線・大野中谷地線ほか）　５億　251万3,000円 ・高齢者低額フリーパス券支援事業　1,700万円 ・長木川河川緑地ほかリサイクルベンチ設置工事費　1,300万円	

主　な　案　件　・　内　容	結　果
・都市公園安全安心事業費（あずまや、トイレなどの補修）　9,538万5,000円 ・成章中学校体育館改築事業費　3,775万1,000円 ・城南児童会館改修事業費　3,898万7,000円 ・十二所公民館改築事業費　１億6,533万8,000円 など	原案可決
○平成23年度大館市一般会計補正予算（第５号）案 ・プレミアム商品券発行事業費補助金　3,000万円	
○副市長の選任について　吉　田　光　明　氏（出　口　四）	同　意
○固定資産評価審査委員会の委員の選任について　佐　藤　忠　義　氏（東有浦町）	
○名誉市民の選定について　明　石　　康　氏（東　京　都）	
○農業委員会委員の推薦について　（３　名）	推　薦

第１回臨時会（会期：５月20日）

内訳：専決処分の報告２件及び承認５件、予算案１件、同意２件、選挙３件、選任２件　計15件

主　な　案　件　・　内　容	結　果
○専決処分の承認について **大館市国民健康保険税条例の一部を改正する条例** ・地方税法施行令の一部を改正する政令の公布により、国民健康保険税の基礎課税限度額及び後期高齢者支援金等課税限度額並びに介護納付金課税限度額を引き上げ （改正前）　（改正後） 基礎課税限度額　50万円　⇒　51万円 後期高齢者支援金等課税限度額　13万円　⇒　14万円 介護納付金課税限度額　10万円　⇒　12万円	賛成多数により承　認 （賛成24 反対３）
○専決処分の承認について **平成23年度大館市一般会計補正予算（第１号）** ・春の農作業に使用する機械への助成やパイプハウスの雪害復旧助成費など　2,507万5,000円 **平成23年度大館市一般会計補正予算（第２号）** ・地域づくり協働推進支援事業費補助金　3,481万5,000円	承　認
○平成23年度大館市一般会計補正予算（第３号）案 ・城南小学校及び田代中学校の耐震対策工事費　１億9,446万7,000円	原案可決

佐藤（さとう）　健一（けんいち）　議員（いぶき21）

循環型農業について

〈問〉　比内地鶏鶏ふん処理施設はペレット方式にするのか。

〔市長〕　本施設は縦型密閉式発酵処理装置での整備を計画しており、２カ年の国の補助事業で本定例会に本年度実施分予算を計上している。発酵処理後の鶏ふんの形状は扱いやすさや使用時の飛散防止の観点からペレット状を検討しており、本年度にその試験を計画している。

東日本大震災による大館市の農業被害について

〈問〉　大震災時の大館市の農作物被害や風評被害はあったのか。あったとすれば、対応・措置はどのようにしたか。

〔市長〕　ＪＡ等からの情報では、震災後に首都圏向けに出荷した農作物の出荷量及び価格はともに平年並みであり、風評被害はないと考えている。また、ＪＡでは全農と連携し、農産物の放射線量測定を実施する予定のほか、独自に放射線測定器を導入することも検討しているとのこと。

市役所本庁舎の耐震について

〈問〉　耐震診断の結果、建てかえを含めた青写真はできているのか。

〔市長〕　本庁舎は老朽化が進んでいることから耐震補強を行うこととし、23年度に実施設計、24年度の工事に向けて準備を進めてきたところ、さきの東日本大震災が発生。今回の大震災は阪神淡路大震災の耐震補強（マグニチュード7・3、震度6強）の想定外で、マグニチュード9という観測史上最大を記録したことから、同規模の地震が発生した場合、耐震補強だけでは市民や職員の安全を確保できない恐れがあり、想定震度の見直しが必要と考えている。また、庁舎は防災拠点・避難場所としてより高い強度が必要であることから、一たん、当初の耐震化計画を白紙に戻し、西側庁舎の改築や市有施設の活用など、庁舎のあり方について再検討を進めているところである。

田中（たなか）耕太郎（こうたろう）　議員（いぶき21）

小畑市政が進もうとする方向性について

〈問〉　企業誘致で着実に若年層の流出に歯どめがかかっているのか。

〔市長〕　若年人口については、平成12年と平成22年を比較し、３８７３人、30・３％の減となっている。生産年齢人口の減少率で見ると、16・５％の減ではあるが、県北では最も少ない状況である。雇用の場の確保に力を注いできた成果の一端と考えている。

〈問〉　人口減少がもたらす市行政への影響をどう考えているのか。

〔市長〕　限界集落の発生、地域コミュニティー機能の低下など深刻な影響が出てきている。地域社会をいかにして維持していくかということが重要な問題であり、定住促進に向けた取り組みを進めてまいりたい。

〈問〉　後期基本計画の素案に対し、市民の意見は。

〔市長〕　市民から20件の意見があり、路線バスのフリーパス券への支援など、６件の意見を採用させていただいた。

〈問〉　市長も若手職員育成に一役を。

〔市長〕　若手職員個々の可能性や能力を最大限に引き出すため、ひざを交えて話し合いをする機会をつくってまいりたい。

東日本大震災に何を学び、どう対応するのか

〈問〉　今回の東日本大震災から何を学び、どう思ったのか。

〔市長〕　従来の想定では不十分であり、ライフラインの早期復旧、市民への各種情報の周知方法等、今後の防災対策への教訓として最大限生かしてまいりたい。また、避難場所としている公共施設の耐震強度等の調査を進め安全性の確保を図るとともに、物資の備蓄に関しては長時間停電をも想定して考えてまいりたい。

〈問〉　公共施設の節電対策や市民への取り組み指導は。

〔市長〕　市役所庁舎を始め、全ての施設で６月15日から電灯の４割以上を消灯している。市民に対しては、市のホームページや広報によりご協力をお願いする。

佐藤（さとう）　芳忠（よしただ）　議員（いぶき21）

市立病院の診察について

〈問〉　初診患者に紹介状持参を求める現在の診療体制は、医師法など法的根拠に基づくのか。

〔管理者〕　法的な根拠に基づくものではなく、緊急で深刻な病状の患者は紹介状がなくても診察している。

〈問〉　第一・第二内科等では原則として紹介患者に限定した診察をしており、紹介状のない患者は後回しで、診察が数時間後になるとのことだが事実か。また、初診患者のために他の病院のように初診日を設けては。

〔管理者〕　紹介状を持参しない新患の患者は診察が後になるため、待ち時間が長くなる。初診日を設けると、これまで以上に医師の外来診察時間が長くなるため、現在の医師数では難しい。

〈問〉　体具合が悪く市立病院を頼ってきた初診患者を数時間も待たせるのは、予約・紹介患

議会の構成

議長
藤原美佐保
（無所属）

副議長
佐藤久勝
（平成会）

総務財政常任委員会（定数7人）

委員長
千葉倉男
（平成会）

委員長
武田晋
（平成会）

副委員長
中村弘美
（平成会）

副委員長
吉原正
（いぶき21）

藤原美佐保
（無所属）

伊藤毅
（平成会）

高橋松治
（社会民主党）

菅大輔
（新生クラブ）

【主な審査事項】

- 市政の総合計画・調整、事務改善
- 広報・広聴、防災対策
- 地域情報化の企画・推進
- 財政計画、予算編成
- 市の組織や職員人事
- 市有財産の管理、工事の入札・検査
- 市民税などの賦課・徴収
- 選挙、監査
- 消防
- 現金など物品の出納保管
- 他の常任委員会に属さない事項

厚生常任委員会（定数7人）

副委員長
小畑淳
（平成会）

副委員長
相馬ヱミ子
（社会民主党）

畠沢一郎
（平成会）

花岡有一
（平成会）

富樫孝
（新生クラブ）

佐藤芳忠
（いぶき21）

【主な審査事項】

- 戸籍、住民基本台帳
- 国民健康保険、介護保険、国民年金
- 交通安全対策
- 環境保全、生活相談
- 廃棄物（ごみ・し尿）処理
- 市民の健康、医療
- 生活困窮者対策
- お年寄り、体の不自由な方の対策
- 児童福祉、児童館、保育園
- 斎場、墓地公園、ペット霊園

議会運営委員会

議会運営に関することなどについて協議しています。

（◎委員長　○副委員長）

◎伊藤　毅（平　成　会）
○高橋　松治（社会民主党）
藤原　明（平　成　会）
虻川　久崇（平　成　会）
吉原　正（いぶき21）
菅　大輔（新生クラブ）
笹島　愛子（日本共産党）

各種委員等

◇監査委員

小畑　淳（平　成　会）

◇民生推せん会委員

花岡　有一（平　成　会）
佐藤　芳忠（いぶき21）

◇青少年問題協議会委員

小棚木政之（平　成　会）
明石　宏康（いぶき21）

◇都市計画審議会委員

石田　雅男（平　成　会）
田中耕太郎（いぶき21）
富樫　孝（新生クラブ）

教育産業　常任委員会（定数7人）

委員長

佐　藤　照　雄
（平　成　会）

副委員長

佐　藤　健　一
（いぶき21）

仲　沢　誠　也
（平　成　会）

虻　川　久　崇
（平　成　会）

斉　藤　則　幸
（公　明　党）

明　石　宏　康
（いぶき21）

田　村　　齊
（新生クラブ）

【主な審査事項】

- 商工業の振興、企業誘致、中小企業振興、勤労者福祉
- 観光振興、地場産品の開発促進
- 地域振興
- 農林業の総合計画・調整
- 農地、土地改良
- 農業技術の改良普及・指導
- 小・中学校、幼稚園の運営
- 給食や児童・生徒の保健衛生
- 文化財保護、生涯教育、青少年健全育成、スポーツ及び文化の振興
- 図書館

建設水道　常任委員会（定数7人）

委員長

小棚木　政　之
（平　成　会）

副委員長

佐々木　公　司
（いぶき21）

藤　原　　明
（平　成　会）

佐　藤　久　勝
（平　成　会）

石　田　雅　男
（平　成　会）

田　中　耕太郎
（いぶき21）

笹　島　愛　子
（日本共産党）

【主な審査事項】

- 道路・橋の新設・改良・維持
- 都市計画の総合企画・調整
- 都市計画道路・公園の整備
- 土地区画整備事業
- 公営駐車場
- 市営住宅
- 建築相談及び助成
- 都市下水路の整備
- 水道事業
- 農業集落排水施設の維持管理
- 工業用水道事業
- 公共下水道事業

者を優先する現在の診療体制を保つためなのか。また、以前のように、紹介状がなくてもいつでも誰でも自由に診察してもらえるような市民が望んでいる診療体制に戻すべきではないか。

〔管理者〕　市民が安心して良質な医療を受けられる体制を維持していくためには、市立病院と地域の医療機関が役割分担し連携することが重要であり、かかりつけ医からの紹介状の持参が最も効果的で効率よく受診できると考えている。

高齢者が安心して暮らせるための今後の施策について

〔問〕　在宅介護の高齢者と介護している家族、並びに突然死等の不安を抱えているひとり暮らしの高齢者への支援を。

〔市長〕　すぐに対応するので、市に一報してほしい。

災害時における災害弱者への支援体制強化について

〔問〕　高齢者や障害者などの避難誘導や安否確認などの支援体制を強化すべき。

〔市長〕　迅速かつ安全な避難誘導体制の整備に努める。

相馬（そうま）エミ子　議員（社会民主党）

小畑市長の政治姿勢について

〔問〕　選挙で相手２候補が得た２万８９００票は市長への批判票という意見もあるが、選挙結果をどのように総括するのか。

〔市長〕　相手２候補の得票数は、政権の長期化による弊害への懸念だと思っている。今後も市民の意見を十分に取り入れ、住民福祉の向上に努めたい。

〔問〕　マニフェストをどのような手順で進めていくのか。

〔市長〕　震災により本市を取り巻く環境も大きく変化しており、震災不況を払拭するためにもまずは地域経済対策である。公共投資を確保するとともに、新たな産業の創出による民間投資の拡大や企業立地を進めることで雇用の確保に取り組む。

災害に強いまちづくりについて

〔問〕　史上最大の地震を受け、防災拠点としての本庁舎の耐震は大丈夫か。また、避難所に指定している公民館等も耐震調査の必要があるのでは。

〔市長〕　本庁舎は防災拠点でもあり、より強度の高い施設の整備を図る必要がある。市民の安全確保の面からも、耐震化計画を白紙に戻し再検討する。

〔問〕　災害等が発生したときの地域の情報伝達方法を市長はどのように考えているのか。

〔市長〕　現在、防災行政無線と緊急時情報一斉配信システムの２つを設置し運営している。緊急時情報一斉配信システムは、登録された携帯メールへ災害情報を送信するものであり登録の範囲拡大を図っていきたい。

〔問〕　福島第１原発事故により、市民は大気中の放射線量に敏感になっている。モニタリングポストについて市長の考えは。

〔市長〕　現時点では心配はいらない状況であり、測定結果は市のホームページで毎日公表している。今後も監視体制を継続していきたい。

雇用問題と企業誘致について

〔問〕　企業誘致の見込みと新たな雇用の見通しは。

〔市長〕　企業誘致については、現在数社と最終協議に入っている。雇用者数については、誘致が決定次第報告したい。

武田（たけだ）　晋（すすむ）　議員（平成会）

除排雪の反省点

〔問〕　今冬は除雪に対する相談・要望が特に多かった。雪寄せ場、間口除雪等の住民要望に柔軟に対応できたか。

〔市長〕　現場で本人から要望を確認し、できる限りの対応をした。今後は、降雪情報の収集方法と体制の強化、住宅地や市街地の雪押し場の確保、朝方の降雪等の課題解決策を検討する。

扇田地区流雪溝への対応

〔問〕　積雪期になると毎年のように流雪溝が詰まり、使用停止となる。排雪時間を守らない住民のモラル、取水ポンプの劣化、時間設定などの問題が指摘される。積雪期前に前向きな検討をすべきではないか。

〔市長〕　自分たちの流雪溝であることを再認識してもらい、他地区の管理組織・運営方法を参考に、地区と協議しながら適切な管理を検討したい。

運動部活動のスポーツ少年団移行

〔問〕　小学校運動部のスポーツ少年団移行に向け、学体連との関係、学校行事とのすり合わせ、各協会の規約上の問題、体育協会・スポ少本部・総合型地域スポーツクラブとの関係等々今後どのように対処するのか。

〔教育長〕　６月中旬に大館市スポーツ振興審議会に、小学生のスポーツ少年団・小学校運動部活動のあり方、総合型地域スポーツクラブとのかかわりについて諮問予定。早ければ夏前に答申を得、（仮称）社会体育移行に係る協議会を立ち上げ、年度内には市の方向を示したい。

消防無線デジタル化

〔問〕　消防無線デジタル化に向けて、現状と完全実施日とされる28年５月31日までの日程を示してほしい。

〔市長〕　本年度は年次計画を作成し総務省に提出する。24年度には実施設計、25、26年度に基地局と機器の整備、27年度の試行を経て、28年５月に完全デジタル化する。経費節減と効果的整備を考え、基地局及び無線機器の整備は市単独で、指令センター及び指令装置の整備は鹿角市・北秋田市の消防本部と調整を図りながら進めたい。

斉藤（さいとう）　則幸（のりゆき）　議員（公明党）

防災体制の見直しについて

〈問〉　市の公共建築物の耐震化がだいぶ遅れている。早急に耐震化を。

〔市長〕　本庁舎については、防災拠点・避難場所として当初の耐震化計画を白紙に戻し、再検討を進めている。

〈問〉　震災マニュアルの見直しについて。

〔市長〕　想定震度を抜本的に見直し、長時間停電などを想定したうえで作成しなければならないと考えている。

〈問〉　停電時の対応について。

〔市長〕　上水道の確保のため、浄水場の停電対策が最も重要。浄水場への発電機の設置を検討してまいりたい。

〈問〉　音声自動応答サービス及び防災ラジオの導入について。

〔市長〕　緊急時の有効な手段であるが、多額の費用を要するため、当面は情報一斉配信システムや防災行政無線を活用してまいりたい。

小水力発電の推進について

〈問〉　自然エネルギーとしての小水力発電を推進すべき。

〔市長〕　小河川、農業用水が多数ある本市にとって身近な発電方式であり、研究していきたい。

学校の耐震化の取り組みについて

〈問〉　児童生徒が安心して通学できるよう耐震化を急ぐべき。

〔市長〕　平成30年度末までに全ての校舎の耐震化を終えたい。

〈問〉　学校施設における防災機能の整備について。

〔市長〕　備蓄物資を各校に分散するより、市の保管場所に大量に備蓄し、そこから配分する方式が現実的と考える。

発光ダイオード（ＬＥＤ）のさらなる推進について

〈問〉　電力節減とCO_2削減のため、さらなる推進を。

〔市長〕　本年度、市役所三ノ丸庁舎内の照明をＬＥＤに交換し、実証試験を実施する。

５歳児相談体制の推進について

〈問〉　相談体制の取り組みは。

〔市長〕　「満５歳すてっぷ相談」をより充実した体制にしたい。

中村（なかむら）　弘美（ひろみ）　議員（平成会）

市長選挙について

〈問〉　多選の懸念をどう払拭するのか。

〔市長〕　一般的に多選の弊害として、ワンマンとなり市政の停滞につながるなどのデメリットが強調されることが多い。私は任期ごとに公約を掲げ、実現するための施策を示して、誠心誠意全力で取り組んだ結果を市民の皆様にご覧いただき、その是非をご判断いただいてきた積み重ねと考えている。今後も常に風通しを良くし、周囲の声に耳を傾けることが基本であることを肝に銘じ、精進してまいりたい。

自然災害の少ない大館をＰＲし、国の施設や企業誘致を

〈問〉　今回の大震災を契機に自然災害の少ない大館をＰＲし、誘致活動を展開すべき。

〔市長〕　本市は自然災害が少ないうえ、古くから北東北の拠点となり得た交通の要衝地である。大都市圏に集中してきた産業基盤や物流拠点などを分散させ、大館に整備・立地させようという提案も今後のあり方を考えるうえで大変意義深いものと思う。25年に予定されている大館北インターチェンジの開通に合わせて、釈迦内の日鉱跡地等を北東北物流拠点として整備を進めるべく、基礎調査を計画している。また、企業誘致も積極的に進めていく。現在、震災の影響等を勘案して本市に目を向けた事業所との交渉に入っており、その結果を近々ご報告できるものと考えている。

市の観光施策について

〈問〉　観光のハードとソフトについて役割分担を明確にすべき。

〔市長〕　議員ご提案のとおりだと考える。現在、観光物産プラザや曲げわっぱ体験工房、観光案内人養成、無料レンタサイクル事業等を実施しているが、これらを観光協会や曲ワッパ協同組合の運営にするなど、官民連携で観光振興に取り組んでいる。また、市の職員は、担当職員を初め全職員が大館をＰＲできるスキルを養成してまいりたい。

佐々木（ささき）公司（こうじ）　議員（いぶき21）

全国最多の６選について

〈問〉　市長の６選の総括は。５期までの反省と６期目の市政担当への決意は。

〔市長〕　都市・産業基盤の整備に取り組み、一定の水準に達することができた。今後４年間で、産業の再生・福祉の充実などに取り組んでまいりたい。

防災における危機管理は

〈問〉　東日本大震災に何を学び、何を教訓として生かすのか。自然災害に対する危機管理は。

〔市長〕　ライフラインの早期復旧、市民への各種情報の周知方法、備蓄のあり方等を今後に生かしたい。また、広域的な災害に対するマニュアル作成が急務である。

節電対応について

〈問〉　節電目標15％への対応、サマータイム導入、クールビズへの取り組みは。

〔市長〕　節電は市役所が率先して取り組む。サマータイムは一自治体だけでは効果が見込めないと考える。クールビズは期間を拡大して実施済みである。

観光元年から今後の観光振興は

〔問〕　観光振興の課題、観光施設整備の取り組み、忠犬ハチ公生誕88周年への取り組みは。また、上原敏を初めとした先人顕彰にスポットを当てた観光は。

〔市長〕　観光案内人の養成とネットワーク化を主力に魅力的な大館の提供に努める。また、忠犬ハチ公生誕88周年イベントは市制60周年と合わせて実現したい。上原敏については、貴重な資料が保管されているとのことから、郷土博物館での展示等に活用させていただきたい。

「花輪線に乗ろうよ！」について

〔問〕　花輪線開通80周年に向けての取り組みは。

〔市長〕　10月に沿線市町が連携し、イベントを開催する。

「花と樹木におおわれたまちづくり」について

〔問〕　一万本桜の実態と市内の桜などの樹木管理は。

〔市長〕　長期的展望に立って、適正な維持管理に努めたい。

田村（たむら） 齊（ひとし） 議員（新生クラブ）

大館市議会議員報酬の削減について

〔問〕　名古屋市の河村市長は市議会議員報酬を半分の年800万円にと提案しているが、このことについて市長の見解は。

〔市長〕　22年度の特別職報酬等審議会への諮問は、統一地方選挙を控えていたため見送らせていただいたが、本年度については早い時期に諮問したいと考えている。したがって、議員の報酬額のみならず市長等の給料の額についても、特別職報酬等審議会のご意見を伺い、議会と相談したいと考えている。

カーブミラーの増設について

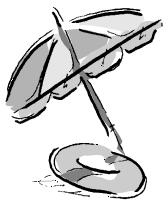
〔問〕　交通事故防止対策の一環として、出会い頭衝突事故を防ぐためにはカーブミラーの設置が有効である。各地区からの設置要望に対しては迅速に対応すべきと考えるが、市長の見解は。

〔市長〕　交通安全施設については、新設・補修等を毎年度、計画的に実施している。特にカーブミラーへの要望は多く、21年度には11基、22年度には7基を設置し、本年度も6基を計画しているが、緊急に設置すべき箇所がある場合は柔軟に対応したいと考えている。なお、事故防止にはドライバー一人一人の安全運転への心がけが大事であると考えている。今後も関係機関・団体等と連携し、安全運転意識の啓発を図るとともに、交通安全施設の設置及び適切な管理に努める。

カラスの有害駆除について

〔問〕　毎年カラスによる農作物の被害は甚大なものと理解しているが、猟友会へ委託しての有害駆除実施の予算等についての見解は。

〔市長〕　昨年度の駆除実績は620羽で、委託料は56万7000円であった。本年度も昨年度と同額を措置しており、引き続き農畜産物への被害軽減のため、カラスの駆除を実施したいと考えている。



笹島（ささじま） 愛子（あいこ） 議員（日本共産党）

最大の災害を想定した防災対策を。消防士・消防団員の充足率向上は急務

〔問〕　災害が起きたとき、まさに市民の命、暮らし、安全を守る消防士を増やすこと。消防士が増えることで、市民に安心感を与えると同時に、消防士の健康維持にも結びつくものと考える。急ぐべきではないか。

〔市長〕　市の消防職員の条例定数は129人で、現在の充足率は95・3％。ご指摘のとおり、市民の安全・安心を確保するためには充足率向上と職員の能力及び技術の向上が急務と考える。

市の地震被害の想定は、マグニチュード6・7でいいのか

〔問〕　本市における活断層や活断層と推定されるものなどを考えると6・7では説得力がないように思うが。

〔市長〕　想定震度そのものの見直しが必要であると考えている。最悪の状況を想定し、最善の計画にしたいと考えている。

備蓄用コンテナや仮設トイレは緊急に

〔問〕　この大震災を教訓に、備蓄用コンテナや発電機の必要性を訴えてきた。今回の補正予算で発電機を購入する旨の予算が措置されたが、トイレの設置についてはどのように考えているのか。

〔市長〕　必要と思われる備蓄品は多岐にわたる。物資を初め仮設トイレなども市の保管場所にまとめて備蓄し、集中管理する方式が現実的と考えている。

国保税の引き下げを行うこと また、滞納者の差し押さえ等は慎重に行うこと

〔問〕　国保税の引き下げは何度も求めてきた。このたびの選挙でも多くの市民から、ぜひ引き下げてほしいと訴えられた。要望に応えるべきでは。

〔市長〕　現時点での国保税率の引き下げは難しいと考えているが、今後も税の軽減・減免措置などについて周知に努めるとともに、国庫負担の引き上げなどについて国・県に対し、引き続き要望していく。

おおだて市議会だより　101号　平成23年8月1日　編集・発行　大館市議会　〒017-8555　秋田県大館市字中城20番地　☎0186-43-7108（直通）

6月議会定例会において、全国市議会議長会表彰
表彰状の伝達が行われました

議員在職20年以上

相馬ユミ子 議員
当選回数　通算６回
（平成３年　初当選）

笹島　愛子 議員
当選回数　通算６回
（昭和62年　初当選）

議会報委員会

市議会だよりは私たちが編集しています

見やすい！読みやすい！議会に目を向けてもらえるような市議会だよりを目指し、編集を頑張ります！

委員長
武田　晋

副委員長
笹島　愛子

委員
佐藤　健一

委員
田村　齊

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴される方は、市役所東側（裁判所側）３階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎43-7108（直通）

編集後記

改選後、また、編集委員になりました。市民の皆さんから「毎回楽しみにしております。」と言ってもらえるように、委員一同、議会事務局の皆さんと一緒にがんばってまいります。今後も様々なご意見やご要望などをお寄せ下さいますようお願いいたします。さて、戦後最大の災害となった東日本大震災発生から、まもなく5カ月。復興の兆しがなかなか見えてこない状況です。国の対応を急がせることと同時に、私たちにできることを長く続けていきたいと思っております。

（笹島　愛子　記）